

# シェアするライフスタイル

## — 分かち合い社会の可能性

もし新しい社会があったら……すべての人が共存し、資源や富を分かち合い、安心して暮らせる社会があったら、それはどんな社会でしょうか？ 貧困や格差、自然資源の奪い合い、競争と自己責任の強いられる現代社会からの転換を、「シェアするライフスタイル」をヒントに探してみましょう。ソーシャルメディア、シェアハウスのようにこの数年で注目されてきた「シェア」から、コモンズ(入会)、農村における共同性とそれに根ざした文化のように、歴史の中で育まれてきた「分かち合い」まで、さまざまな事例から学びます。自然や文化、人間の知恵などの社会的資本を共有していくことの価値を再発見する楽しい旅です。もう一つの世界をイメージすれば、あなたのライフスタイルも変わっていくはず。まずは私たちの暮らしの中に、シェアする楽しさを取り入れてみましょう。

- 2013年5月～12月
- 基本的に隔週金曜日 19:00～21:00
- 全10回/定員30名
- 受講料：28,000円

5/24

オリエンテーション

### 分かち合う社会

— 「消費」「成長」ではない世界は可能だ！

大江正章 (コモンズ代表/PARC代表理事)

企業に雇われるだけが働き方じゃない。大きな生協だけが協同じゃない。本当の自立とは周囲に頼れる人間がどれだけたくさんいるかです。お金以外の関係性がいちばん大切！



●主著：『地域の力 食・農・まちづくり』岩波新書 2008/『農業という仕事 食と環境を守る』岩波ジュニア新書 2001 ●参考文献：広井良典編著『協同で仕事をおこす 社会を変える生き方・働き方』コモンズ 2011/マーク・ポイル『ぼくはお金を使わずに生きることにした』紀伊國屋書店 2011

6/24 (月)

### さあ、ダウンシフターズへ

— シェアする生き方・働き方って、ユカイ！

高坂 勝 (Organic Bar店主/緑の党共同代表/NPO SOSA Project理事)

いくら収入を上げてても幸せは永遠にこない。システムから降りると、欲しかったものが手に入る!! 競い合いでなく、わかちあいで、である。暮らし方と働き方の転換、いかが？



●主著：『減速して生きる ダウンシフターズ』幻冬舎 2010/『土から平和へ みんなで起こそう農レボリューション』(共著) コモンズ 2009 ●参考文献：荒川龍『自分を生きる働き方 幸せを手作りする6人のワークシフト』学芸出版社 2012

7/5

### 他人と住む日常「シェアハウス」

— わたしたちの暮らし方が変わる

阿部 珠 恵



茂原 奈 央 美



(『シェアハウス わたしたちが他人と住む理由』著者)

近年急増するシェアハウス。その生活ぶりや住人の価値観、さらにはシェアハウスを通じて育つ新しい「暮らし方」まで、自身の経験やインタビューをもとにお話しします。

●主著：『シェアハウス わたしたちが他人と住む理由』辰巳出版 2012



講師のお二人が実際に住んでいるシェアハウス。場が生み出す人との交流。話題は尽きない

7/19

### “もったいない”を“ありがとう”へ

— 「セカンドハーベスト・ジャパン」のフードバンク活動

井出 留 美 (セカンドハーベスト・ジャパン広報室長)



日本は年間のコメ生産量(839万トン)と同じくらい、まだ食べられる食べ物を捨てている、という現状を知っていただきたいと思います。



●主著：『四快(よんかい)のすすめ 子どもの「快眠・快食・快便・快動」を取り戻す』(共著)新曜社 2011 ●参考文献：大原悦子『フードバンクという挑戦 貧困と飽食のあいだで』岩波書店 2008

セカンドハーベスト・ジャパンのフードバンク活動  
Photo by Natsuki Yasuda/Studio AFTERMODE

8/9

### 「確かな未来へ」

— 内発的発展の村おこし

金子 美 登 (霜里農場)



身近にある資源を活かして食とエネルギーを地産・地消する。集落全体が有機農業に転換した村から始まっている未来と村おこしまでの実践。そして、これからの40年を語る。

●主著：『イラストでわかる有機自給菜園』家の光協会 2010/『有機・無農薬でできる野菜づくり大事典』成美堂出版 2012 ●参考文献：金子美登『農力検定テキスト』(共著)コモンズ 2012/日本労働新聞「市民、働く者にとっての本当の社会、確かな未来へ」2013年1月5日・15日『日本労働新聞』日本労働者協同組合

9/20

### まちづくり・エネルギーをシェアする

— トランジション・タウンとパーマカルチャー

糸長 浩 司 (日本大学生物資源科学部 教授)



脱経済成長社会、エネルギー下降時代の、価値観・ライフスタイル・コミュニティ転換シナリオとデザイン・アクション。トピックスで原発・災害地域の飯館村民の再建展望。

●主著：『2050年から環境をデザインする 都市・建築・生活の再構築』(共著)彰国社 2007/『東日本大震災からの復興まちづくり』(共著)大月書店 2011 ●参考文献：日本建築学会『地球環境時代のまちづくり』丸善 2007/日本建築学会『地域環境デザインと継承』彰国社 2004

10/4

### 暮らしと思いをシェアする

— 農山村の新しい道

小田 切 徳 美 (明治大学農学部 教授)



農山村では、厳しい条件のなかでも、それに抗する「地域おこし」の動きが、いままで以上に活発に見られます。そこから私たちが何をシェアできるのかを考えます。

●主著：『農山村再生 「限界集落」問題を越えて』岩波ブックレット 2009/『農山村再生の実践』(編著)農文協 2011

11/8

### 山野をシェアする

— 「入会」(コモンズ)の葛藤と知恵

齋藤 暖 生 (東京大学農学生命科学 演習林)



山野がシェアされてきた営みのなかには、その地域、時代の事情のなかで苦闘する人びとの知恵が垣間見られます。私たちが以降の世代がゆたかに暮らす作法を探すヒントになりそうです。

●主著：『コモンズと地方自治 財産区の過去・現在・未来』(共著)日本林業調査会 2011 ●参考文献：室田武ほか『入会林野とコモンズ』日本評論社 2004



富士の裾野に広がる広大な山林。ここには何百年と地元住民が守り育ててきた「入会地」がある

12/6

### 創造と情報をシェアする

— めくるめくフリーカルチャーの世界

ドミニク・チェン (NPO法人クリエイティブ・コモンズ・ジャパン理事/株式会社ディヴィジュアル共同創業者)



フリーカルチャーとはインターネットを活用して自由な文化を構築するための運動や活動全般を指す言葉です。フリーカルチャーの歴史と現状をご紹介します。

Photo BY Joi Ito

●主著：『フリーカルチャーをつくるためのガイドブック クリエイティブ・コモンズによる創造の循環』フィルムアート社 2012 ●参考文献：マット・メイソン『海賊のジレンマ ユースカルチャーがいかにして新しい資本主義をつくったか』フィルムアート社 2012/田中浩也『FabLife デジタルファブリケーションから生まれる「つくりかたの未来」』オライリー・ジャパン 2012

12/20

### 言葉をシェアする

— 公共性と市民性を考える

中野 佳 裕 (国際基督教大学 助手・研究員)

日本や世界の動向を踏まえた上で、これからの民主主義の課題について議論します。

●共著：勝俣誠、マルク・アンベール編著『脱成長の道 分かち合いの社会を創る』コモンズ 2011 ●参考文献：中野佳裕「3・11後を生きる：豊かさを変えるには」全5回『東京新聞』2013年1月14日～2月11日(毎週月曜日)/ラトウシュ『消費社会からの脱出(仮)』作品社 近刊(2013年4月)